

千代川なんでもコーナー

このコーナーでは、千代川の治水・利水・環境を中心に現状、将来の計画など紹介します。

千代川の観測史上最大の洪水は 大正7年9月14日

台風の接近により、降水量290mm、死者30人、浸水家屋11,831戸の大きな被害を受けました。その当時の水位の記録が市内に今も残っており、この洪水のすさまじさがうかがえます。皆さんも、近くに来ることがありましたら、確認してみてください。



100号 清流くん 締め切り 記念企画1 まちがい探しクイズ



2つの絵をくらべて、5ヶ所のまちがいを探してください。わかった方は、どこがまちがいかがハガキに答えを書いて千代川流域圏会議事務局 清流くんまちがい探しクイズ係までお送り下さい。正解者の中から抽選で10名様に記念品をお送りいたします。

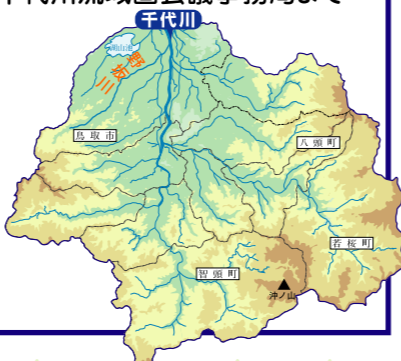
当選者は商品の発送をもってかえさせていただきます。
※お寄せ頂いた個人情報は、記念品の発送以外には使用しません。

野坂川 源流探検を行います!!

千代川支川の源流を辿り、私たちの飲む水がどこから来ているのかを探ります。第8回になる今回は、鳥取市を流れる野坂川の源流を探り、「源流の碑」を建てます。

- 開催日時 平成18年10月29日(日) 9時30分
- 集合場所 JR鳥取駅南口ロータリー(フコク生命ビル側)
※駅から安蔵公園までバスを出します
- お申し込み 10月24日(火)までに、千代川流域圏会議事務局まで
ハガキ、電話、FAX等で

- 参加者の皆様へ
- お弁当を持参して下さい
 - 山歩きにふさわしい服装でおいで下さい
 - 先着20名まで受付
 - 雨天の場合は中止します



いつでも どこでも 河川情報を入手

近年、河川での事故が多発しています。そのためにも、前もって河川の状況を知っておくことが大切です。国土交通省では、インターネットおよび携帯電話(iモード)を通じて、レーダ雨量やテレメータ雨量・水位等の国土交通省が観測している全国の河川に関するリアルタイム(現時点の速報値)の情報を直接提供しています。

iモードの場合

1. 河川情報を選択
2. 中国地方を選択
3. 「千代川水系(鳥取)」を選択して必要な情報のコーナーへアクセス

インターネットの場合

初期画面のメニューから必要な情報のページへ感覚的にクリックしながら利用できます。

※アラームによる突発情報の入手も可能です
<http://i.river.go.jp/>

<http://www.river.go.jp/>

かっぱ通信 事務局だより

ついに100号をむかえた千代川news。次号から、新キャラクターをむかえて、ますますパワーアップします!どんなキャラクターかは...まだ内緒です。

新キャラクター登場!?

次号からお楽しみに!

(発行・編集)
千代川流域圏会議事務局
〒680-0803 鳥取市田園町4丁目400番地
国土交通省中国地方整備局 鳥取河川国道事務所 河川管理課内
TEL 0857-22-8435 FAX 0857-29-1859

2006
10
vol.100
千代川流域圏会議通信

千代川 news



おかげさまで 千代川newsが 100号を 迎えました!

1998年4月に第1号を発行した千代川newsが、今号でついに100号を迎えることとなりました。これまで千代川newsならびに千代川流域圏会議を支えていただいた皆様にお礼を申し上げます。今後も内容を充実させ、皆様によりよい「千代川news」をお届けしてまいりますので、よろしくお願いたします。

千代川フェスティバル2006開催!

今年で9回目となる「千代川フェスティバル」は、8月20日、八頭郡若桜町の中之島公園を会場に開催されました。開催前日に降った雨に気を揉みましたが、当日は青空が広がる快晴!多くの皆さんでにぎわう中、会場のあちらこちらで歓声があがる楽しい一日となりました。



川沿いを見てみると、今年もやっぱり人気は「魚のつかみ取り」。子供たちだけでなく、ここでイイところを見せたいお父さんやお母さんたちも入り混じって魚と格闘する様子は、迫力ありましたよ。みんな上手に採れたかな?



ところ変わって、「カッパの学校」では水辺の生き物を観察。ふだんあまり気がつかないけど、いろんな生き物があるんだね。トンカチの音が響く「工作コーナー」とともに、みんなの夏休みの宿題の役にたったかな?



お腹がすいたら、流域の特産品などを販売する「千代川の楽市楽座」へ。ラーメンや焼き鳥、カレーなど、どれもおいしそう。こうして流域の美味しいものが集まるのも、千代川フェスティバルの魅力です。

今年も大満足の千代川フェスティバルでした。ご来場いただいた皆さま、どうもありがとうございました!来場できなかった方々も、来年はぜひ遊びに来てください!



祝 vol.100

千代川newsで振り返る流域圏会議のあゆみ

1998年4月の創刊以来、今回でめでたく100号を迎えた千代川news。千代川newsの発行は、千代川流域圏会議の活動とともにありました。これまでの千代川流域圏会議のあゆみを、千代川newsとともに振り返ってみましょう。

1998年 【流行語大賞】
「ハマの大魔人」
「だっちゅーの」

98年4月(創刊号)



98年9月
(Vol.6)

1997年12月に発足した千代川流域圏会議。千代川newsの記念すべき創刊号は、その翌年、1998年の4月に発行されました。また、8月22日には初めての千代川フェスティバルを開催。第6号ではそのときの賑わいを紹介しています。

鳥取のできごと
台風10号が県内で猛威をふるう

1999年 【流行語大賞】
「ブッチフォン」
「リベンジ」「雑草魂」

99年7月 (Vol.16)



99年6月8日には、流域圏会議主催による「おいしい水シンポジウム」を開催しました。



道上会長より

流域のみんなで意見を交わしながら、「千代川をもっと親しまれる川にしよう」ということから始まった千代川流域圏会議の活動を、広く地域の皆さんに伝えるために創刊した千代川newsが、このたび100号を迎えました。

創刊からこれまでの間にも、川に対する治水と利水という視点だけでなく、私たちも川の環境を意識して、川との距離が縮まってきているように思います。千代川newsが200号を迎える頃には、きっと今まで以上に流域の皆さんと千代川との距離が縮まっているのではないかと思います。

2000年 【流行語大賞】
「おっはー」
「IT革命」

鳥取のできごと
鳥取西部地震

00年8月 (Vol.28)



この年、7月14日に開催された流域圏会議において、「清流を守る行動計画」が策定されました。この行動計画は、今もずっと千代川流域圏会議の活動の基礎となっているものです。

清流を守る行動計画

1. 「清流保全計画」の策定
2. 「千代川流域圏会議の森」の選定
3. 良質な水質の保全
4. 住民参加の推進
5. 活動のPR

2001年 【流行語大賞】
「小泉語録」

鳥取のできごと
鳥取環境大学開学

01年8月 (Vol.40)



この年、植物の力を借りて水質を浄化する実験である「植生浄化実験」が、智頭町でスタートしました。実験にあたっては、その後も流域の皆さまに参加頂きながら、2004年まで続けられました。



2002年 【流行語大賞】
「タマちゃん」
「W杯」

02年6月 (Vol.50)



50号達成!

鳥取のできごと
智頭町市瀬採掘場土砂崩落

2006年

こんな年

- 河原町水辺プラザでの芝生公園づくり
- 千代川水系河川整備基本方針策定・公表



8年をかけて ついに100号 達成!

これまでに、

千代川流域圏会議 **18回**

千代川フェスティバル **9回**

源流探検 **7回**

千代川流域一斉水質調査 **5回**

が開催されました!

2005年 【流行語大賞】
「小泉劇場」
「想定内(外)」

鳥取のできごと
全県で雨不足

05年5月 (Vol.83)



この年、千代川流域の市町村は相次いで合併し、流域圏会議の活動への影響も懸念されました。しかし、千代川で繋がった流域同士、しっかりとこれまでと同様に活動を進めていくこととなりました。

2004年 【流行語大賞】
「チョー気持ちいい」

04年11月 (Vol.77)



この年の9月に鳥取県東部をおそった台風21号。千代川流域にも大きな被害をもたらしました。この災害で、自然の怖い部分を改めて考えさせられることになりました。

2003年 【流行語大賞】
「毒まんじゅう」「なんでだろー」
「マニフェスト」

鳥取のできごと
鳥取情報ハイウェイ完成

03年1月 (Vol.57)



この年の新年号で、千代川newsはカラーに生まれ変わり、より分かりやすく、読みやすくなりました。